

市議会だより



# ほまた 子供神楽 FESTA 2014

Vol.34  
平成26年(2014年)8月1日発行



平成26年5月22日  
第9回浜田市小学校陸上競技大会



平成26年6月22日  
子供神楽 FESTA2014



平成26年6月15日  
浜田市防災訓練

## 6月定例会 主な記事

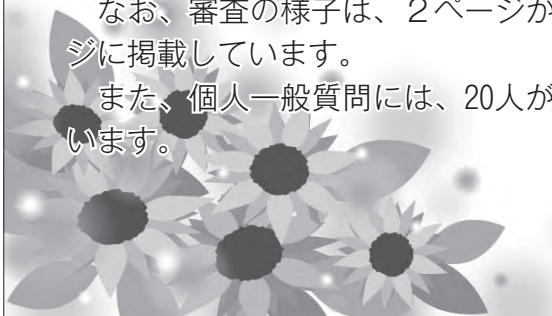
20人の議員が論戦（個人一般質問）…………… P 6～  
議会報告会を開催しました。…………… P13～

# 6月定例会のあらまし

平成26年6月浜田市議会定例会が6月9日に招集され、6月24日までの16日間の会期で開かれました。

今定例会で提出された議案は、市長から提出された議案が12件、請願が1件でした。なお、審査の様子は、2ページから3ページに、採決の結果は4ページから5ページに掲載しています。

また、個人一般質問には、20人が立ちました。論戦の様子は6ページから掲載しています。



## 市営駐車場料金のあり方を議論

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された議案4件などの審査概要は次のとおりです。このうち、市営駐車場の使用料を引き下げる「浜田市有料駐車場条例及び浜田市立図書館条例の一部を改正する条例について」は、本会議においても質疑が集中した案件でありました。委員からは、利用率向上の試算や、石中央文化ホールの減免規定に対する条例制定のあり方、本会議でのやりとりを受けた半日料金等の検討期間などについての質疑があり、執行部からは積極的にPRして利用増加に努めたい、減免は市長判断による決裁

で、条例の減免規定を根拠にしている、半日料金の検討については1年は検証してみたい、との答弁がありました。また、屋根付きであることの利便性を活かした料金設定にすべきとの意見がありました。

水泳連盟から室内プールを買い取る「浜田市東公園運動施設条例の一部を改正する条例について」は、来年4月の条例施行までの運営や今後の指定管理者について質疑がありました。執行部からは、売買締結後の4月から市の施設となる、12月定例会で指定管理者の提案を考慮しており、浜田市水泳連盟の指名の方針である、との答弁がありました。



駅前立体駐車場

採決の結果、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。

## 介護保険サービス・ごみ袋見直しなどを調査

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会では所管事務調査などを行いました。このうち、介護保険事業計画では平成27年度から要支援1・2の人に

対するサービスを、市が受け持つことになり、浜田市の検討状況はどうか、福祉団体やNPO法人など受け皿があるのかなどの質疑が行われました。

ごみ袋の見直しは、現

行5種・13種類あるごみ袋を簡素化するもので、



「ごみ袋見直し」～進めたいごみ減量化

いる、浜田市のごみ分別基準は誇るべきもの、などの意見が出されました。簡易水道と上水道の統合計画は、簡易水道の19浄水場を10ヶ所に再編するもので、休止する浄水場には他の浄水場から送水が行われます。送水による維持費はどうか、人口減少などであり給水人口の見直しは行うのか、などの質疑が行われました。

リハビリテーションカレッジ島根では経営シミュレーションで、26年度3学科64名の入学者を27年度70名確保することで収支が黒字に転換すると見通しが示され、25年度の借入1億円について市民や議会への説明が必要ではないか、などの意見が出されました。

# 農業基盤整備で、 将来は？

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案3件などの、審査を次のとおり行いました。

「土地改良事業計画」(団体営農業基盤整備事業(浜田第一期工区))は、区画整理をしようとする田の横に災害で埋まった田があり、それを一括して区画整理をして、担い手農家が農地集積が可能となるようなものにして、併せて、担い手農家規模拡大につなげていくというものです。

担い手について、この改良工事の後に、ある程

度確保の見込みがあるのかどうかとの質疑がありました。

執行部からは、今のところ改良工事後もご自分で作付けされる予定で、担い手を探している状況ではないが、将来的に高齢化等で作れなくなった場合に、担い手に渡すときに引き受けてもらいやすい農地にするものであるとの答弁がありました。

また、「市道路線の廃止」(木戸山賀線外)、「市道路線の認定」(木戸山賀線外)については質疑がなく、付託を受けた議案は、採決の結果、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。



土地改良事業計画 (大津地区)

民生費の生活困窮者自立支援事業(生活困窮者自立支援法の制定に伴う生活困窮者に対する自立支援策の強化を図るための経費)については、本事業の委託先である浜田市社会福祉協議会の実施体制についてや、委託料の積算根拠等について質疑があり、執行部から、

予算決算委員会では、6月20日に委員会を開催し、議案第56号平成26年度浜田市一般会計補正予算(第1号)の1件について、延べ9人から質疑があり、慎重に審査を行いました。主な内容は次の通りです。

## 県のモデル地区!水田作業 安全・省力化実証事業!

— 予算決算委員会 —

現在の社協の職員1名と新たに嘱託職員3名を雇用し合計4名で対応する、委託費については、主に嘱託職員の給与や研修費であるとの答弁がありました。

衛生費の地球温暖化対策支援事業(太陽光発電設備設置に対する助成)について、補正予算での計上経過を問う質疑があり、執行部からは、市としては国の補助事業の見直しにより、この事業そのものが平成25年度で終了の予定であったが、県が引き続き補助金を交付することになったことを受け、予算計上することになった、との答弁がありました。

その他6件の質疑を行い、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。



予算決算委員会の様子

議案第49号  
「浜田市税条例等の一部を改正する条例について」  
に対し1名の議員が討論

反対討論

西村 健議員

主たる反対理由は、軽自動車税の大幅引き上げにある。

4月からの消費税増税にあわせ、自動車関連税

制が大幅に改変された。

自動車取得税は、本年

4月1日の購入から自家

用自動車5%から3%

に、営業用自動車3%

から2%に軽減され、加

えて与党大綱では、「消

費税率10%への引き上げ

時に自動車取得税は廃止

する」と明記された。

それに代わる財源とさ

れたのが軽自動車税の引

き上げである。標準税率

を採用している市町村で

は、来年度以降購入する

新規の軽自動車税は、自

家用乗用車で1.5倍に、自

家用貨物で1.25倍に大

幅引き上げとなる。超過

税率を採用している浜田

市の場合今回は、標準税

率にすることで、それぞ

引き上げ率では多少鈍化する点は評価するが、それでも大幅な引き上げには違いない。

自動車取得税の引き下げに伴う税源不足を軽自動車税の大幅引き上げで賄うという、自動車業界の圧力に屈した今回の筋の通らない税制改正には賛成できない。

普通車との税額の差を埋める措置というが、国内の自動車販売台数が伸び悩む中、急速に販売台数を拡大させている軽自動車への増税は、経費削減のために軽自動車に乗り換えてきた庶民に重い負担を強いるものである。浜田市も含め、公共交通機関が衰退した地域では軽自動車唯一の交通手段という場合も多々あり、複数所有している家庭も少なくない。

消費税増税のうえに、自動車取得税の減収の穴埋めとして軽自動車税を増税するとは、まさに「重の「弱いものいじめ」」と考える。

以上、議案第49号に対する反対討論とする。



# 平成26年6月定例会での議案等の賛否の公開について

議案番号	議案名	付託委員会	足立 豪		岡野克俊		柳 真智子		串崎利行		小川稔宏		森谷公昭		野藤 薫		上野 茂	
			委員会	本会議	委員会	本会議	委員会	本会議	委員会	本会議	委員会	本会議	委員会	本会議	委員会	本会議	委員会	本会議
承認第1号	専決処分の承認について（平成25年度浜田市一般会計補正予算第8号）	委員会付託省略 6月16日即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	浜田市総合振興計画審議会条例及び浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	浜田市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	浜田市税条例等の一部を改正する条例について	総務文教委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	浜田市有料駐車場条例及び浜田市立図書館条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	浜田市東公園運動施設条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	浜田市火災予防条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	市道路線の廃止について（木戸山賀線外）	産業建設委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	市道路線の認定について（木戸山賀線外）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	土地改良事業計画について（団体営農業基盤整備促進事業（浜田二期地区））	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成26年度浜田市一般会計補正予算（第1号）	予算決算委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	平成26年度浜田市一般会計補正予算（第2号）	委員会付託省略 6月24日即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の提出について	総務文教委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

詳細については市議会HPをご覧ください。

## 平成26年6月議会の主な可決事業とその他報告事項

### 早期自立の支援を図る！ “生活困窮者自立促進支援事業”

—生活保護に至る前の段階での  
自立支援策の強化を図るため—

- 目的：①自立相談支援  
②住居確保給付金の支給  
③ほか自立支援に関する措置
- 予算額 26年度 1,033万7千円(全額国県支出金)  
27年度 1,498万8千円

### 市全体で成人の門出を祝福！ “浜田市成人式の統一について”

—27年度(28年1月10日(日))から実施—  
弥栄、三隅の夏の成人式は今年度が最後

- 26年度の開催予定

浜田	H27.	1 / 11 (日)	午後
金城、旭	H27.	1 / 4 (日)	午前
三隅	H26.	8 / 14 (木)	午前
弥栄	H26.	8 / 15 (金)	午前

### 石央文化ホール利用者に朗報！ “石央文化ホール利用者 市営駐車場減免について”

—駐車場使用料割引からイベントの集客数増加に寄与—

- 対象：ホール利用者で市営駐車場に駐車
- 対応駐車場：駅前、道分山駐車場
- 減免内容：普通駐車場使用料の1 / 2
- 減免後：1時間半100円，5時間400円
- 予算額 事業費 480万円（一般財源）

### 8/3リニューアルオープン！“旭温泉あさひ荘”

—チップボイラーを使った  
環境に優しい公衆浴場施設—

- 指定管理者：旭温泉旅館組合
- 指定期間：H26.8.1～H29.3.31（2年8ヶ月）
- 工事費：本体1億644万2千円（1/2国庫）  
ボイラー4,953万5千円（90%国庫）

# 請願・陳情審査経過及び結果 平成26年6月定例会審査分

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した委員会と結果
請願	集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の提出について	江津市後地町2456-2 憲法を活かす会 代表 古川忠光 様	(総務文教委員会) 継続審査

# 個人一般質問



## 20名が論戦

**質問** 消防三隅出張所の現状において適切な人員配置が行われているか。

**答弁** 出張所のすべてが、3人体制である。消防力の整備指針において、地域の実情にに応じて対応する。

**質問** 消防団事務の一元化で、消防本部が担うことになれば、消防団員に対して出勤命令は、消防本部が行うか。

**答弁** 現行出勤要請は、浜田自治区は消防長、他の自治区は区長が行っているが、一元後は、すべて消防長が行う方向で検討している。

**質問** 災害時における避難所が361ヶ所のうち、201ヶ所が、浸水や土砂災害等の危険箇所にあるが、その対応を聞く。

**答弁** 自主防災組織の設立等で地域防災力の向上



出張所3人体制で  
火災対応可能か？

**田畑 敬一 議員**  
消防力の水準を  
確保する



大丈夫か？3人体制の三隅出張所

に努め、避難所の安全性や運営体制、要援護者の避難方法等の課題は地域の声を聞き検討する。

**質問** 全産業の中で最も危険な農業を変えようと、日本農業労災学会が発足した。全国ベースで350人が農業事故で亡くなっている。現状を問う。

**答弁** 農作業中の死亡事故は、県内で15人、その内3人が市内で発生している。

今後は、関係機関と連携し、事故の発生状況を把握し調査、研究する。

**質問** 移動が困難な住民に対し、公共交通の政策に合わせ、持続可能な移動販売事業の取組に、市が積極的にかわり体制整備をすべきと訴えてきた。地域コミュニティの増進や福祉政策としての効果も期待できる当事業を早急に構築すべきと思うがどうか。

**答弁** 民間事業者と連携し、福祉政策、定住対策としての位置づけも含め、生活支援という観点で、体制づくりを構築したい。

**質問** 財政運営が厳しさを増し、職員削減が進んでいくなかで、市民サービス向上の取組は行政の大きな課題である。

これまで進められてきた技能系職員の業務の外部委託もほぼその余地がなくなり、先進自治体に



移動販売事業を早急に  
構築すべきではないか

**佐々木 豊治 議員**  
民間事業者と連携した  
体制づくりを構築する



移動販売車での買物

おいては専門定格業務とされる事務系職員の委託が進められている。足立区では戸籍や住民記録の窓口業務を民間委託し、今後は他の業務も移行される予定である。コスト削減に加え、サービスの向上や民間雇用などが期待される窓口業務の民営化の取組を問う。

**答弁** 近隣の取組も参考にしながら、本格的に検討していく。

**その他の質問**  
○ごみ袋の簡素化の取組  
○新地方公会計制度 他

## 水道料金はどの程度上がるのか？



**答** このままだと  
**足立 豪議員**  
 浜田自治区は1.6倍

**質問** 平成29年度から水道料金の値上げを予定されているが、社会福祉法人等への収支の影響について伺う。

**答弁** 現在、料金改定について検討中であり、個別の収支に対する影響は試算していない。

**質問** 現在の水道料金と比べてどの程度上がるのか試算について伺う。

**答弁** 平成29年度に値上げを予定しているのは浜田自治区と三隅自治区で、浜田自治区ではこのままだと約1.6倍になってしまふ。年間300万円の水道料がかかっているところは、約480万円になり、年間約180万円の負担増となる。

**質問** 高齢者世帯への影響も大きいと考えるが、水道部の考えを伺う。

**答弁** 高齢者世帯は、通

## 「ロードマップ」のスタートの進捗状況は？



**答** 概ね、良いスタートだと認識している  
**笹田 卓議員**

**質問** 水産業の活性化についての「ロードマップ」の進捗状況は？

**答弁** 概ね、良いスタートだと認識している。



水産浜田の顔「浜田漁港」

**質問** 「ようこそー浜田」運動の推進についての「ロードマップ」の進捗状況は？

**答弁** 「おもてなし」のまちづくりについては、予定が遅れる。

**質問** 浜田那賀方式自治区制度の見直しについての「ロードマップ」の進捗状況は？

**答弁** 7月から公聴会を

## 浜田市に児童発達支援センターの設置は？



**答** 早急に市内の拠点づくりに努める  
**串崎 利行議員**

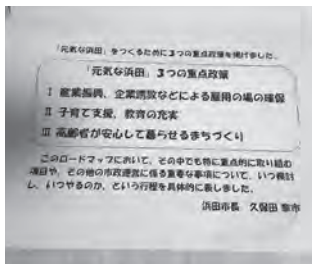
**質問** 「元気な浜田」をつくるためのロードマップの中に、儲かる農業の推進項目で、大規模な農業団地の整備「元谷団地の整備」とあるが、入植者募集をかけて十分な応募が見込めるのか。

**答弁** 事前に意向の聞き取り調査等を行っており、新規就農者からも相談を受けている。この様な状況から、十分な応募があると考えている。

**質問** 現在浜田市には、児童発達支援センター・支援事業所の設置がされていない。県下では、ほとんどの圏域で設置されているが、なぜ設置されないのか問う。

**答弁** 浜田市は、江津市の島根整肢学園に頼っていた。今後、早急に市内の拠点づくりに努める。

**質問** 旧那賀郡において



浜田市「ロードマップ」

8ヶ所で開催し、今年度中には、方針を出す予定。

**質問** ごみ袋の簡素化についての「ロードマップ」の進捗状況は？

**答弁** 様々な問題があり、変更の可能性もある。

「元気な浜田」をつくるためのロードマップについては  
[www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/.../roadmap.pdf](http://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/.../roadmap.pdf)  
 (検索)

## その他の質問

○県外船の誘致について

は、高齢化に伴い、すでに限界集落が数多く存在し、今後自治会組織が崩壊するのではないかと感じている。中山間地域の集落機能の維持確保について、市の考えは。

**答弁** 弥栄・旭・三隅では、自治会担当市の職員を配置し、行政のパイプ役等支援を行っている。



元谷の風景

### 全国学力テストの

### 状況とその公開は



**答** 調査結果の公表は

当面行わない

岡野 克俊 議員

**質問** 市内の全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の状況と考察を伺う。

**答弁** 昨年度は市内全小中学校の小学6年、中学3年（909名）を対象に国語、算数（数学）及び生活意識調査が実施された。正当率では、中学国語B問題で全国平均を上回っている以外は、小学校、中学校ともに下回っている。意識調査からは、起床時間が早く、家族と夕食をともにする割合が高いが、メディア接触時間が長いこと、家庭学習の時間が短いことが分った。

**質問** 松江市の教育委員会では、学校別の調査結果を公表する指針を出したが、浜田市でも何らかの調査結果の公表をすべきではないか。

### 社会保険労務士による

### 労働条件審査の導入を



**答** 選定委員会に加わって

もらうことから検討

江角 敏和 議員

**質問** 制度導入以降、指定管理に移行した事業数や財政規模の変動を伺う。

**答弁** 平成18年度は、6事業、約1億2千3百万円が、平成26年度当初予算時点では、14事業、約2億8百万円に拡大し、全体では、73施設、約4億6千万円となっている。

**質問** 一般競争入札に伴う全国的な課題を伺う。

**答弁** 公平性や談合防止の効果は高いが、反面、ダンピングが発生しやすい傾向もある。また、不適格業者の完全な参入防止等、業者の誠実性の確保ができない恐れもある。

**質問** ダンピングにより事業者の収益、働く人達の賃金や労働環境、そして住民サービスや安全の低下へ繋がりにかぬないこ



### 消防団員の処遇改善を



**答** 他市の状況見て検討

西村 健 議員

**質問** 昨年12月、消防団支援法が成立し、一消防団は、地域防災力の中核として代替性のない存在」と規定された。

**質問** 消防団員数の推移と今後の加入促進策を問う。

**答弁** 団員数は、05年が1019人、本年が980人と減少傾向にある。

**質問** 団員の82%がサラリーマンであり、消防団に協力していることを社会的に評価する消防団協力事業所表示制度の普及を図っていききたい。

**質問** 事業者の協力を得るための入札参加資格に係る優遇措置や事業税減免の実施状況を問う。

**答弁** 入札参加資格の総合評価において、加点する制度は導入している。税制面での減免措置は実施していないが、今後検討していく。

**質問** 団員の報酬、出勤手当は、地方交付税単価の51.81%と低い状況にある。引き上げるべきではないか。

**答弁** 全国の8割近い自治体が低い状況にあり、他市の状況も見ながら検討する。

**質問** 団員を活用した地域防災リーダー育成の取組について問う。

**答弁** 今後、自主防災組織の組織化とあわせ、防災士や地域防災リーダー活用の拡大を図る。



浜田川での一斉放水（消防出初め式）



## 職場環境整備のため

### 自死職員の情報公開を



**答** 個人情報に関する情報は、答えられない

森谷 公昭 議員

**質問** 自死された職員さんの通院情報や労災認定予定の有無、市の各種窓口への相談、自己申告書の機能を問う。

**答弁** 答えられない。

**質問** 議員は、市長からの8項目の要求内容を全否定しており、(思い当たらないので)詳細の説明を要求したが、市長は拒否。それにも拘らず、議長あてに「職員の自死は議員のせい」と受け取れる公文書の送付は、行き過ぎではないか問う。

**答弁** 問題ないと思う。

**質問** 議員がどなり倒して気絶させた、という噂も嘘。職員を他の部署へ強要して連れまわしたというのも嘘。詳細が漏れ聞こえるものは全て事実ではない。公開の場で話をすべきだ、考えを伺う。

**答弁** 中身の具体的なな

## 地域包括ケアシステムの

### 取組が重要!



**答** 安心して暮らせる地域づくりを進める

柳楽 真智子 議員

**質問** 重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けるために、地域包括ケアシステムの構築は大変重要だ。医療・介護・行政・家族が情報を共有することで、それぞれに適したサービスやスムーズに行うことができる。市の取組を問う。

**答弁** 昨年度から島根県在宅医療推進事業に取組んでおり、在宅医療に関わる多職種が参加する会議を行っている。関係者が情報を共有できるように、連携ノートの運用を試行することとしている。

**質問** 日常生活圏域二丁目調査が実施され、分析されているのか問う。

**答弁** 調査は広域行政組合が、昨年度実施。高齢者の生活課題の結果を分析し、地域の課題やサー

## 海上自衛隊誘致で

### 浜田港の発展を!



**答** 多方面からの声を聞き方針を決定する

平石 誠 議員

**質問** 先頃の新聞報道に浜田商工会議所から、浜田港の有益な活用策として、海上自衛隊の誘致を求め意見書が市長に手渡されたことあった。これまでに、前市長に対して同様の質問がなされてきたが、市民の理解を得なければならぬとのこと。誘致に関して具体的な動きは示されなかった。

今回の海上誘致に対する市長の所見を伺う。

**答弁** 海上自衛隊艦船の入港は、年1回程度実施されており、一定の経済効果があると認識している。仮に、補給基地として誘致できた場合には、寄港時の関連イベントによる誘客や、燃料・飲料等の地元からの物資納入が図られ経済効果も大きい。また、定期的な寄港となれば、事務所の建設

や補給のための施設整備等が実施されると考えられ、より一層の経済効果があがるものと期待している。今後、海上自衛隊の意向はもちろん、議会や市民、現在浜田港を利用されているコンテナ船や他の船舶関係等の意見を伺ったうえで、国、県等への要望活動を考えたい。

### その他の質問

○環境負荷低減に向けた取組について  
○学校給食センターの統合について



浜田港へ入港中の海自艦船

教育は、浜田にとっても、

百年の大計だ！



**答** 教育の重要性は、十分承知している

澁谷 幹雄 議員

**質問** 毎月百時間以上の残業となると、管理職でない教員が、毎日5時間以上のサービスマン残業となり、民間なら査察を受けてブラック企業として公表されるレベルだ。この労働条件と保護者のわがままが、教員の辞職と病気の原因ではないか？

**答弁** 徹底した、業務量の削減に取組む。

**質問** スクールカウンセラーとソーシャルカウンセラーの力を積極的に借りなければ、学校現場は崩壊するのではないか？

**答弁** 積極的に取組む。

**質問** 「講師」の先生たちだが、本採用になるように、教育委員会は、研修や指導の機会を努力して十分与えているのか？

**答弁** 検討する。

**質問** これ以上、学校を減らさない仕組みづくり

が必要ではないか？

**答弁** 努力する。

**質問** 今年1億8千3百万円の市長肝いりの「元気な浜田枠」の事業を実施するために、「新市まちづくり事業」として承認された「生活道路整備」など24事業、合計7億円の事業が先送りされた。市民との約束を守らなかつたことになり、大きな問題ではないか？

**答弁** 地域協議会の了承を得た。今年限りで、来年は先送りしない。

大学のあるまちの誇りとして、教育先進市をめざすべきだ！



大学のあるまちの誇りとして、教育先進市をめざすべきだ！

浜田市の「木・花・魚」と

中山間地域の課題



**答** 「桜・つつじ・のどぐろ」は市のシンボル

飛野 弘一 議員

**質問** 「桜とつつじ」をふんだんに植栽し、頂上広場には15mの天守閣を再現という観点から展望台をかねた「のどぐろ」のモニユメントを建立するつもりはないか？

**答弁** 「のどぐろ展望台」は難しいかもわからないが「桜・つつじ」は植栽したい。

**質問** 三隅には代表的な一本桜がある。後世に引き継ぐ支援が重要と思うが、ながら関わって行きたい。

**答弁** 地元希望を聞きながら関わって行きたい。

**質問** 三隅公園の「つつじ祭り」の来客者が「じり貧」となっている。増植し6万本を目指し中国地方単独1位・西日本4位を目指す意気込みを期待するが、

**答弁** 補植・不要竹林の伐採など検討する。

**質問** 圃場は更新時期

だ。高齢化も進み安全と省力化の観点から畦畔・農道法面の芝生化等支援策は、

**答弁** 試行している。効果が確認できれば市単独の支援策も検討する。

**質問** サギ鳥被害を調査して害鳥指定すべきだが、

**答弁** 検討する。

**質問** 「楮」の生産仕組みづくりと石州和紙名刺の活用とその効果は、

**答弁** 「楮」の生産は進捗している。名刺は有効であり更に利用検討する。

三隅公園のつつじ（5万本）



三隅公園のつつじ（5万本）

浜田の「お宝」の

コーディネートの役割は？



**答** 検討委員会を設置して観光コースをつくる

西田 清久 議員

**質問** 市民から出された「お宝」を活用するためのコーディネーターの役割について問う。

**答弁** 「お宝」を活用し、既存の資源を含めた観光コースづくりは、検討委員会を設置して進める。

**質問** 「元気な浜田」をつくろうと思う市民の気持ち意識の醸成が、一番の「お宝」の掘り起しだと考えるが所見を伺う。

**答弁** 市民と一緒に頑張って浜田の「お宝」を見直し、そして意識を変えたい。議論が盛り上がることで自らが浜田の元気につながることを考える。また、みんなで「浜田はこれだ」という共通認識を持ちたい。

**質問** ふるさと郷育の推進で、郷土出身の文化人、経済人など著名人の、その時それぞれの故郷に対する想いや考え方

などが、もっと子どもたちに伝えられないか問う。

**答弁** 浜田出身の偉人等の学習や現在活躍中の方々の経験談などを聞く機会は設けている。今年度、島根県公民館連絡協議会において、「公民館ふるさと教育推進モデル事業」を募集し、浜田市では2つの中学校校区で採択された。

**その他の質問**

○若者や女性、シニア層の起業支援

○海上自衛隊の誘致

「浜田のお宝」リアルひよっこりひょうたん島



「浜田のお宝」リアルひよっこりひょうたん島

## どうする元気な浜田づくりは



**答** ロードマップに沿ってやっていく  
牛尾 昭 議員

**質問** 浜田港水揚100億円に向かって北朝鮮力二船の誘致活動は。

**答** そこまでは検討していない。

**質問** 北朝鮮制裁解除を狙い早く先手を打つべきと思っがどうか。

**答** 検討したい。

**質問** JR豪華列車の誘致活動を市長が先導してやるべきでは。

**答** 市長会が主催でやるべきだと思っが、萩市までの4市間の観光列車運行も提案している。

**質問** 今回初めてとなる職員採用社会人枠は、何人なのか。

**答** 3人だが優秀な人材があれば採用する。

**質問** 35歳までだがもつと広げてはどうか。

**答** 市長判断である。

**質問** 今後は、広く人材を求めするために年2回の

採用試験は継続が。

**答** 複数回の採用試験を検討していく。

**質問** 浜田出身者のUターン促進のため、向こう10年くらいの採用職員の数公表すべきと思っが。

**答** 行革と再任用の観点から難しいが検討する。

**質問** 半官半民制度導入しワークシェアリングで職員数を増やし、定住を促進し少子化対策を講じてはどうか。

**答** 現状では難しいが、将来的にはなると思っが。



豪華列車(写真はJR西日本より提供)

## 周年記念を目標にして 市政を進めては



**答** 周年記念は大変重要 県に働きかける  
芦谷 英夫 議員

**質問** 公民館の人口規模の差で、自治活動に支障がある。その状況と支障の認識を問う。

**答** 人口規模の大きは15,000人、小は200人、大きいところはまちづくり推進委員会の設立が難しい。公民館の分割について検討を進めている。

**質問** 各町内の世帯数に大きな差があり、町内の運営、役員の選出、自治活動などに支障がある。現状と町内の再編を問う。

**答** 世帯の多い町内で400世帯、少ない町内で1世帯、自治活動への参加や理解が得られない、活動が停滞しているなどの課題がある。町内の再編について相談したい。

**質問** 自治活動を支援する地域おこし協力隊の配置、定住への支援を問う。

**答** 金城に1名配置、浜田、旭にも配置を予定している。地域での活動が進むよう支援する。

**質問** 昭和32年浜田港重要港湾指定、平成29年に60周年を、昭和44年浜田漁港特定第3種漁港指定、平成31年に50周年を、それぞれ迎えるが、周年記念の取組を問う。

**答** 周年記念を契機とした港の機能や位置づけなどの啓発活動は大変重要であり、管理者の島根県と協議する。



周年記念を迎える浜田港と浜田漁港

## 認知症高齢者の見守りと 行方不明時の対策は



**答** 安心して暮らせる緩やかな責任の連帯が重要  
小川 稔宏 議員

**質問** 一人暮らしの安否確認、見守り協定について何う。

**答** 訪問介護や民生委員、福祉委員、高齢者クラブで取組まれている。

**質問** 生協、宅配業者、公共交通機関等、生活関連団体等との見守り協定締結を検討している。

**答** 安心して暮らせる緩やかな責任の連帯と専門スタッフ配置について何う。

**質問** 協定が有効に機能するよう協議の場を設けたい。認知症地域支援関が連携したネットワークの形成が重要である。

**質問** 広報の活用や学校教育での取組について何う。

**答** 認知症の方が困っている時の声かけの仕方等掲載したい。認知症啓

発の子供向け教材を作成した。講座も開催したい。

**質問** 政権への配慮等出版社の自主規制の中、教科書選定を巡る議論の有無と採択権について何う。

**答** 正式な議論はない。関係法令、県教委方針に基づき選定している。

**質問** 領土、歴史等の記述についての認識を問う。

**答** 検定合格し歴史的事実を正しく伝えている。

**質問** 教育改革で教委の独自性が保てるか何う。

**答** 政治的中立性を確保していると思っが。



認知症啓発絵本と社会の教科書

人口の激減を

緩和させる対策は？



**答** 晩婚化・未婚化に効果的な施策を検討する

岡本 正友 議員

**質問** 少子化こそ喫緊の大きな問題である。出生率の現状と予測、出生数をあげるための環境整備と支援策について伺う。

**答** 合計特殊出生率は国より高く県より低い状況である。今年度策定する支援事業に数値目標を設定して、環境と支援の充実を図っていく。

**質問** 若者の人口流出は地域社会や経済社会に大きなダメージである。卒業後の地元就職の現状とUターン者の状況、その定住対策について伺う。

**答** 高校卒業生88人の市内内への就職数は43人である。県大は4人、リハビリカレッジが5人でトータル58人の22%が地元に残る。Uターンが8人、Iターンが40人である。減少の視点から社会動態において約230人の

の減少となっている。今後は、地元就職や農業研修のIターンの推進を図っていききたい。

**質問** 推計人口予測から将来を見据えた対策が必要であると考えが。

**答** 将来推計人口の警鐘から社会動態及び出生数の増加に取組まなければならぬと考えている。「流出を食い止める」「呼び込む・呼び戻す」ため雇用の場の確保、子育て支援並びに教育の充実といった重点施策に全力的に取り組んでいく。

**質問** 昨今の厳しい社会情勢の中、市民からのクレームも日増しに厳しくなり、「元氣な浜田」づくりの本来本元である市役所に元氣がない。管理職によるフォロー、部署の団結について考えを問う。

**答** 市民からの過激なクレーム対応へは、部署内でのマニュアルを統一し、管理職を中心に対策を図っているが、さらに風通しが良く、活気のある職場への強化を図る。

**質問** 国は、土曜日にゲームやテレビに費やす子どもが5割近くになると分析し、正規の土曜授業実施を各自治体の教育委員会の判断に委ねた。全国の14・5%の教委が実施し、それ以外の体験活動や補修などを行う教委も11%に上る。遅い浜



若者の定住対策が必要

元氣な浜田っ子づくりへ

土曜授業の実施を



**答** あらゆる観点から検討する

道下 文男 議員

**質問** 田っ子づくりが「元氣な浜田づくり」の根幹であり、是非とも前向きな取組を望むが考えを問う。

**答** 正規の「土曜授業」を取り入れるには、教職員の日勤務や負担増の課題がある。ゆえに、それ以外の外部講師によるほか、土曜日の充実、あるいは長期休業中の充実といった観点も踏まえ、どのような手法での取組が可能なか検討する。

**その他の質問**  
○浜田藩士の墓所・石碑の維持管理について

**質問** 国は、土曜日にゲームやテレビに費やす子どもが5割近くになると分析し、正規の土曜授業実施を各自治体の教育委員会の判断に委ねた。全国の14・5%の教委が実施し、それ以外の体験活動や補修などを行う教委も11%に上る。遅い浜

田っ子づくりが「元氣な浜田づくり」の根幹であり、是非とも前向きな取組を望むが考えを問う。

**答** 正規の「土曜授業」を取り入れるには、教職員の日勤務や負担増の課題がある。ゆえに、それ以外の外部講師によるほか、土曜日の充実、あるいは長期休業中の充実といった観点も踏まえ、どのような手法での取組が可能なか検討する。



元氣な浜田っ子を

漁港関連インフラへの支援は？



**答** JFしまねと浜田市は今後も連携し取組む

野藤 薫 議員

**質問** 漁業を支える側の、造船や鉄工所、エンジン整備等の事業者も水揚げの減少に伴い、廃業したり、高齢化で後継者も少ないと聞く、10年後、水揚げ百億円の達成には関連産業への支援も必要ではないか伺う。

**答** 平成18年に合併したJFしまねは漁港の管理を一括して運営されている。浜田市としても、今まで以上に連携を密にし、元氣な浜田市づくりに協力していきたい。

**質問** 市道や側溝等の整備や改修には、議会報告会でも種々の意見要望があった。市民の整備要望に対し事業は、どの程度実施されているのか伺う。

**答** 最近の状況で98件の要望中59件完了、3件工事中、36件未着手で、

未着手の理由は昨年夏の災害で技師等の人手が足らず、ご迷惑を掛けていく。なるべく早く完了へ努力したい。

**質問** 浜田警察署は新図書館隣地へ新築移転するが、跡地に都市公園を整備できないか伺う。



移転する浜田警察署

**答** 浜田市都市公園条例の市民一人当たりの要件は満たしているが、市中心部に残された場所なので、庁舎内の公共用地活用検討会議で有効利用されるよう議論していく。

# 議会報告会を 開催しました



このたび第3回目の議会報告会を5月12日から16日までの5日間市内10会場で行い、多くの方に参加していただきました。ありがとうございました。



日時	開催会場	参加者
5月12日（月） 19：00～20：30	国府公民館	14人
	石見公民館	24人
5月13日（火） 19：00～20：30	浜田公民館	40人
	長浜公民館	9人
5月14日（水） 19：00～20：30	周布公民館	14人
	美川公民館	10人
5月15日（木） 19：00～20：30	三隅公民館	30人
	弥栄会館	16人
5月16日（金） 19：00～20：30	金城みどりかいかん	35人
	旭センター	54人
合計		246人

議会報告会の目的は、浜田市議会としての議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の皆さまの意見を把握し、今後の議会活動や市政運営に反映させるためのものであります。

今回の議会報告会でいただいたご意見やご要望の総数は96件でした。これらの意見・要望は【議会に関する事】【自治区制度】【まちづくり】【広島開拓】【水道料値上げ】【環境】など、多方面にわたっており、議会に関する事以外は市長（執行部）に意見・要望として報告させていただきます。

議会に対する意見・要望については、議会内部で検討を重ね、回答とともに主なものを14ページに掲載していますのでご覧ください。

市民の皆さまから貴重な生の声をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。今後も市政運営に反映できるよう、運営方法、周知の方法など引き続き検討しながら、議会報告会を開催したいと考えています。



